

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街						
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり						
施策の基本方針								
<p>市民の心豊かで健やかな生活を支援するため、街のいたるところで文化芸術を楽しみ、実践し、発信できる環境づくりを推進するとともに、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりを行うための支援を行います。また、冬季スポーツを振興するため、通年型のカーリング場を整備するとともに、アジア冬季競技大会の開催に向けた取り組みなど、冬の国際スポーツ大会の誘致を進めます。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 市民が多彩な文化芸術に親しむとともに、自ら作り上げる文化活動の振興								
	優れた演劇公演の実施	42,000	0	13,700			13,700	32.6
	500m美術館の整備	113,000	68,754	12,900			81,654	72.3
	さっぽろアートステージの開催	114,000	29,374	27,960			57,334	50.3
	札幌交響楽団への補助	—	160,000	160,000			320,000	—
	Kitaraファーストコンサートの実施【再掲】	92,000	23,223	22,062			45,285	49.2
	子どものミュージカル鑑賞事業の拡充【再掲】	2,000	0	0			0	0.0
	子どもの美術体験事業の拡充【再掲】	10,000	2,500	2,375			4,875	48.8
	次世代型博物館計画の策定	23,000	0	6,000			6,000	26.1
	「(仮称)古代の里」の整備	480,000	10,021	217,100			227,121	47.3
	埋蔵文化財センター展示室の更新	24,000	3,304	3,000			6,304	26.3
施策2 スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進								
	地域の健康づくり推進事業	12,000	0	3,910			3,910	32.6
	地域スポーツにぎわい促進事業	12,000	38	3,000			3,038	25.3
	中央体育館改築事業	—	2,625	7,900			10,525	—
施策3 ウィンタースポーツの活性化								
	カーリング場建設事業	1,770,000	763,920	959,987			1,723,907	97.4
	カーリング普及事業	46,000	0	29,900			29,900	65.0
	ウィンタースポーツ活性化事業	58,000	15,236	17,260			32,496	56.0
	札幌らしい特色ある学校教育推進事業【再掲】	36,000	6,499	7,720			14,219	39.5
	スポーツツーリズム推進事業	15,000	0	2,500			2,500	16.7
	アジア冬季大会施設機能保全事業	4,000	0	0			0	0.0
重点課題合計		2,853,000	1,085,494	1,497,274	0	0	2,582,768	90.5

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	
24年度	【「(仮称)古代の里」の整備】代替圃場整備費の見直し
4年間を通して	

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街					
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 市民が多彩な文化芸術に親しむとともに、自ら作り上げる文化活動の振興							
優れた演劇公演の実施							
1	公演数(累計)	—	—				84公演
500m美術館の整備							
2	展示替え回数	1回	2回				4回
さっぽろアートステージの開催							
3	さっぽろアートステージの開催	1回	1回				現状維持
札幌交響楽団への補助							
4	公演への観客数(市内)	121,353人	124,332人				125,000人
Kitaraファーストコンサートの実施【再掲】							
5	児童の参加率	96.3%	95.9%				現状維持
子どものミュージカル鑑賞事業の拡充【再掲】							
6	希望した児童の鑑賞者の割合	91.9%	91.1%				100%
子どもの美術体験事業の拡充【再掲】							
7	おとどけアート事業実施校数	3校	3校				現状維持
8	ハロー！ミュージアム事業実施校数	82校	160校				202校
次世代型博物館計画の策定							
9	次世代型博物館計画の策定	—	検討				策定
「(仮称)古代の里」の整備							
10	遺跡公園整備の基本計画策定	—	—				策定
埋蔵文化財センター展示室の更新							
11	展示室更新整備	—	—				完了 (25年度)

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街					
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進							
地域の健康づくり推進事業							
12 健康づくりの人材登録数		—	—				580人
地域スポーツにぎわい促進事業							
13 地域スポーツ活動人数		657,356人	659,897人				780,000人
14 (仮称)さっぽろスポーツデーに参画する地域スポーツ団体数		—	未実施				55団体
中央体育館改築事業							
15 建設工事の着工		—	未着工				着工
施策3 ウィンタースポーツの活性化							
カーリング場建設事業							
16 大規模な大会の開催		—	—				開催の決定
17 カーリング一般開放利用者数		約2,300人	H24.9より 集計開始				20,000人
カーリング普及事業							
18 体験会、教室等の利用者数(累計)		—	未実施				3,000人
ウィンタースポーツ活性化事業							
19 中学校スキー学習実施校数		36校	67校				85校
20 大通公園を活用したイベントにおける来場者数		23,312人	5,056人				35,000人
札幌らしい特色ある学校教育推進事業【再掲】							
21 農業体験を実施した小中学校数		10校	20校				30校
スポーツツーリズム推進事業							
22 展示会ブース出展および見学ツアー開催回数(累計)		—	なし				12回
アジア冬季大会施設機能保全事業							
23 リニューアル工事着工施設数		—	0施設				2施設

注: 番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街					
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり					
成果指標の動向							
成果指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
80	文化芸術活動を行った人の割合	37.9% (22年度)	49.3% (23年度)				40% (26年度)
		文化芸術を観たい・やりたいと思ひ、行動に移す人が増えてきており、これまで実施してきた環境整備や活動支援などの文化施策が着実に実を結んできているものと考えられる。					
81	市民による文化財施設の認知度	— (22年度)	88.6% (23年度)				30% (26年度)
		目標値の設定にあたっては、「平成19年度第1回市民アンケート」の見学実績を参考に行い、見学実績と認知度は概ね近い値になると見込んだが、大きく乖離する結果となった。					
82	週に1回以上スポーツ(運動)を実施する人の割合	35.4% (22年度)	38.5% (23年度)				50% (26年度)
		実績値は微増となっており、ソフト・ハード両面の環境整備を引き続き行うとともに、実施事業等の検証結果を活かす必要がある。					
83	直接スポーツ観戦をする人の割合	42.8% (22年度)	43.2% (23年度)				50% (26年度)
		全体としては微増となっており、プロ野球、プロサッカー等の身近で観戦できる環境にある競技は増加しているが、相撲、格闘技等の機会が少ない競技は減少傾向である。					
84	ウインタースポーツをする人の割合	11.3% (22年度)	11.1% (23年度)				20% (26年度)
		実績値は微減となっており、平成19年以降の市内スキー場2施設閉鎖の影響が考えられる。通年型カーリング場のオープンを契機と捉え、ウインタースポーツ全般の普及・振興を行う。					
社会成果指標							
85	札幌市内で開催された文化芸術イベント数	8,783件 (21年度)	9,390件 (23年度)				9,600件 (26年度)
		イベント数の増加に加え、市民が積極的に広報を行っていることもその要因と考えられ、「文化芸術を楽しむ、実践し、発信できる環境づくり」が着実に進んでいる。					
86	健康づくり応援企業・店舗数(累計)	2,015件 (22年度)	2,047件 (23年度)				3,000件 (26年度)
		受動喫煙防止キャンペーン実施における関係団体の協力等でPRを行うことができ、件数増となったものと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	市民が多彩な文化芸術に親しむとともに、自ら作り上げる文化活動の振興	
23年度の主な取組内容(実績)		
地下鉄大通駅からバスセンター前駅間の地下歩行空間に500m美術館を整備常設化。	11月を文化月間と位置づけ、複合的文化事業(さっぽろアートステージ)を開催。	
札幌交響楽団運営費への補助を実施。	小学6年生を対象にKitaraでオーケストラ演奏の鑑賞・体験機会を提供(観賞者数:210校、15,210名)。	
24年度の主な取組内容(予定)		
演劇公演事業及び稽古場の賃借料に対する補助を実施。	500m美術館において年間を通じて作品展を4回開催。	
11月にさっぽろアートステージを開催。	博物館他都市事例調査、モバイルミュージアム型実証展示。	
「(仮称)古代の里」の整備に係る検討委員会の設置・運営。代替圃場の整備。	埋蔵文化財展示室更新基本計画の策定。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【さっぽろアートステージの開催】市内各所で舞台芸術・音楽・美術などの文化芸術イベントを行ったことにより、市民が文化や芸術に触れ、親しむことのできる機会を生み出すことに貢献した。 【Kitaraファーストコンサートの実施】全小学校の6年生が「キタラ」コンサートを鑑賞することで、公演鑑賞のマナーを習得するとともに、子どもたちが感性豊かな人間となり、文化芸術に対する創造性を育むことに繋がった。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【優れた演劇公演の実施】演劇を鑑賞する機会の創出により、劇鑑賞者の裾野を広げ、演劇活動を活性化させることで、札幌の文化芸術活動の振興を図る。 【次世代型博物館計画の策定】札幌への理解を深め、創造性を育むことに配慮し、次世代型博物館計画を進めることで、文化芸術活動を行う機会の確保や文化財施設の認知度を上げることを目指していく。		
施策2	スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
「地域スポーツにぎわい促進委員会」を設置し、地域スポーツ振興策の検討を開始。	中央体育館建設基本構想に係る検討。	
24年度の主な取組内容(予定)		
健康づくりを行う団体に活動推進のための講師を派遣。	効果的な地域スポーツ振興策を検討するため、現地調査やヒアリング調査を実施。	
中央体育館建設基本計画を策定。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【地域スポーツのにぎわい推進事業】地域スポーツを活性化するため、各地域(中学校区程度)における恒常的スポーツ活動者の増加に向けた、各種調査に基づいた効果的な支援策を検討していく。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【地域の健康づくり推進事業】事業実施にあたり健康づくりを応援する企業の発掘を行い、連携して実施することで市民、企業、行政が連携した健康づくりの推進を目指す。 【中央体育館改築事業】建設基本構想をもとに、地元及び競技団体等との協議のうえ、敷地・施設規模・施設構成などに関するより詳細な検討を行い、基本計画策定に向けた取り組みを進めるとともに、関係部局との連携に努める。		

政策目標	5	市民が創る自治と文化の街
重点課題	2	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	ウィンタースポーツの活性化	
23年度の主な取組内容(実績)		
通年型カーリング場を建設工事。	市立中学校・高等学校スキー学習支援事業として59校に対して543人のインストラクターを派遣。	
アジア冬季競技大会の会場となる美香保体育館と月寒体育館の施設整備基本計画を策定。		
24年度の主な取組内容(予定)		
通年型カーリング場を供用開始。	カーリング場のオープニングイベント及び体験型普及事業の実施。	
市立中学校・高等学校スキー学習支援事業としてインストラクターを派遣。	カーリング場、札幌ドーム、大倉山ジャンプ場など、札幌市のスポーツ施設に対する観光客誘致を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【ウィンタースポーツ活性化事業】市立学校スキー学習支援では、中学校・高等学校の授業支援が増加し、スキー学習を復活させるための支援として有効であった。 【アジア冬季大会施設機能保全事業】国際大会開催に相応しい施設とするための施設整備基本計画を策定した。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【カーリング建設事業】都市機能に恵まれた札幌の優位性を生かし、集客交流にも貢献するために、国際大会や全国大会など、大規模大会の開催を視野に入れた管理運営を行う。 【ウィンタースポーツ活性化事業】子どもを対象とした事業が多いものの、その事業の中でも積極的に大人への働きかけやPRができるように内容を工夫していく。		
協働の状況		
【さっぽろアートステージの開催】民間事業者、劇場、芸術家、学校教育関係者などからなる実行委員会形式で実施しており、また、文化芸術活動を行っている市民の育成を図っている。		
【子どものミュージカル鑑賞事業の拡充】四季株式会社との共催で実施している。		
【ウィンタースポーツ活性化事業】ウィンタースポーツ振興に携わる組織・団体との情報交換を行い、事業のアイデアやノウハウを活用している。		